

会報 まつもと 62号



令和 4年 3月18日 発行

(公財)長野県長寿社会開発センター 松本地区賛助会

松本市島立1020 松本保健福祉事務所福祉課内

発行責任者 小林直美 発行部数 600部



文部省重要伝統的建造物
《塩尻市・奈良井宿景観》

令和4年度松本地区賛助会の活動について

(公財)長野県長寿社会開発センター
松本地区賛助会 会長 小林 直美



会員の皆様、令和3年度賛助会活動に御協力・ご支援をいただき有難うございました。コロナ禍による活動中止や縮小する中、ウォーキング交流会、マレットゴルフ交流会、ボウリング交流会は予定通り実施でき一安心しました。参加者のハッスルプレーを拝見するととても若く（心も）素敵な笑顔が感じられ、コロナ禍ではありましたが交流会事業が実施できて良かったとつくづく感じました。事業運営を担当してくださった皆様本当に有難うございました。

さて、令和4年度も新型コロナウイルス変異株により終息の見込みが不明ですが、賛助会活動は前年度の活動を継続して実施するよう計画しております。特に2年続けて実施出来なかった三世代文化交流大会は、10月7日（金）松本市音楽文化ホールを予約してありますが、例年通りの公演が出来るかは今後のコロナ禍の状況により不明な部分はありますが、実施の方向で担当者一丸となって進めております。会員皆様のご参加を期待致します。

松本地区賛助会会員の減少に歯止めがかからず活動にも支障をきたしており、新年度から組織の見直しを行いスリム化した役員で運営する体制づくりを検討してきました。新組織は、次号で紹介致します。新年度も会員皆様のご協力・ご支援を宜しくお願い致します。

知事表彰【社会福祉表彰】と信州ねんりんピック高齢者作品展表彰式が行われました

令和3年度11月29日 松本合同庁舎502会議室にて、知事表彰と、信州ねんりんピック高齢者作品展の入選作について、表彰式が行われました。

受賞者：「ごより会Ⅱ」グループ代表 大月雪代さん（写真前列左から二人目）

知事表彰：【社会福祉表彰】長年にわたる地域活動に貢献されたことで「ごより会Ⅱ」が選ばれ、グループ代表の大月さんに表彰状が渡されました。

高齢者作品展入選作の表彰式も同時に開催され、日本画部門では、「墨友会」の洞澤さかえさんが長野県シニアクラブ連合会長賞、洋画部門では佐々木光江さんが奨励賞、書の部門では「25Q」の宮本祥江さんが安曇野市長賞を受賞されました。



(写真前列左端：
小松仁 松本保健
福祉事務所長
前列右端：
湯浅明 支部長)

※撮影時のみ
マスクを外しました

☆松本地区賛助会特別企画 アンケート結果報告

調査月 令和3年12月

依頼(グループ長・役員) 32名

回答者 27名

当賛助会の活動について、グループ長と役員のご意見を集計致しました。

1. グループ活動の地区賛助会の役割

アンケート項目	投票数	比率	コメント・まとめ
ア)グループ活動に役立ち現状維持	2名	7.7%	1)地区賛助会への期待感稀薄と感ずます。 2)地域活動とグループ交流事業構築が必要 3)会員減少の歯止めは、至難の事態
イ)役員減員し事業簡素化し負担軽減	16名	61.5%	
ウ)グループ間の交流支援を期待する	8名	30.8%	

2 グループから地区賛助会への要望事項

アンケート項目	投票数	比率	コメント・まとめ
ア)非接触型体温計の貸与	0名	0.0%	1)年初の提出書類に不満が多い、軽減希望 2)会員自身賛助会の理解不足がある。 3)賛助会事業減少とグループへ委嘱可能
イ)開催会場の確保の円滑化	3名	13.6%	
ウ)グループのセンター提出書類の軽減	19名	86.4%	

3. 『県長寿社会開発センター』会費について(一項目選択) (無投票者があります。)

アンケート項目(1項目選出)	投票数	比率	コメント・まとめ
ア)会費 2,000 円に減額する。	13名	52.0%	1)活動費廃止し即 1,000 円に減額希望 2)会費負担に難色を示す会員有ります。 3)情報誌『りらく』は希望者とし減額希望
イ)『りらく』は希望購読とし会費 1,000 円	7名	28.0%	
ウ)現状で良い(3,000円)	5名	20.0%	

4. 情報誌『りらく』について(一項目選択) (無投票者があります。)

アンケート項目(1項目選出)	投票数	比率	コメント・まとめ
ア)楽しみにしており、必ず読んでいる。	6名	28.0%	1)情報誌『りらく』最近号は《つまらない》という意見ありました。新聞化には？ 2)《送付されるので見る》 3)会員の情報誌期待感稀薄です。 4)全員配布は、検討の時期と思う。
イ)参考にする程度、あまり読まない。	15名	60.0%	
ウ)関心記事少なく購入は希望者のみ	3名	12.0%	

◎その他意見

- 会員の高齢化が進み《マイカー利用可能な限り協力》するとの意見がありました。
- コロナ対策として通信費のグループ補助金にお礼のご意見をいただきました。
- 合庁会議室の利用制限の早期解除を期待します。

◎総評

1. 会員の85%が《年会費の減額・廃止》を希望している。シルバー世代の実態を把握し早期に検討して欲しい。
2. 情報誌『りらく』については、全員配布の見直す時期と思われます。新聞化も一案であり検討して下さい。
3. 賛助会の体制と事業内容については、会員減少に合う負担減少を是非討議して欲しい。(文責・峯村)

☆アンケート調査にご協力ありがとうございました。賛助会の活動に役立てたいと思います。
会員の皆様に、賛助会活動に《ご参加とご興味》をお持ち下さいます様お願い申し上げます。

松本地区賛助会特別企画 アンケート結果

依頼(グループ長・役員) 32名

回答者 27名

賛助会の活動について、グループ長と三役以下役員の意見を集約しました。

1, グループ活動における地区賛助会の役割について

- ①地域の各種活動により満足しており、賛助会活動に魅力を感じない。魅力のある事業計画を期待。
- ②会員の減少に歯止めがかからず、賛助会活動の縮小を明確化し事業の減少を図る。
- ③賛助会運営は現状に合った簡素化を図る必要がある。
- ④グループ間の交流が必要です。活動の見直しが急務である。
- ⑤グループ間の交流対策が必要。会員減少は、重大問題であり会員の増加が急務である。
- ⑥現状では、会員の減少の歯止めが利かない。シニア大学生の勧誘のみで良いのか。
- ⑦グループの事務負担の軽減とグループの提出書類の軽減が必要である。
- ⑧現状では組織が縦割り過ぎてグループ間の横の連結の仕組みが必要である。
- ⑨当初の設立理念を守り、原点に戻る対策が必要である。
- ⑩非会員の混在が賛助会衰退してゆく大きな要因と考えられる。

2, グループから地区賛助会への要望事項

- ①現状は、グループ活動に重点を向け、会員の賛助会の理解不足があり事業は縮小していく。
- ②役員他会員減少対策・現状に合わせた体制づくりが出来ていない。
- ③現状では、グループ活動中心であり現状の賛助会は、不要である。
- ④賛助会の活動は地域活動であるが出来ていない。賛助会は無くしても良い。
- ⑤賛助会を廃止し、グループはセンター直轄体制で運営可能ではないか。
- ⑥グループが少人数であり運営に支障はない。

3, 『長寿社会開発センター』会費について (一項目選択)

- ①配分する活動費は、廃止し会費下げる。又活動費の提出報告書類を軽減する。
- ②活動費バック¥1,000.を廃止して、会費を 2,000 円に引き下げる。
- ③グループへの活動費を廃止し、会費を下げる。
- ④会費が高いという会員多く、年会費廃止の時期。逆に補助金により会員増強する。
- ⑤会費を 1,000 円にしても入会を断られる状況と感じます。賛助会どん底状態にある。

4, 情報誌『りらく』について (1項目選択)

- ①情報誌『りらく』を、新聞化して会費を減少させる。
- ②情報誌『りらく』送付されるので見るが期待感無し。
- ③情報誌『りらく』の最近誌はつまらない。数年前は、良かった。
- ④他地区の仲間の情報を得る良い資料になっている。

5, その他・総評

- ①高齢になり健康維持しマイカー利用等自己管理できる限り賛助会に協力したい
- ②コロナ対策としての通信費援助に感謝している。
- ③コロナ対応で難しいと思うが、合庁の利用規制を早く解除してほしい。
- ④シニア大学の卒業生としてのカルチャー面での仕組みと充実感(会費の対価)が無い。

☆行事・事業報告

◎松本地区賛助会ボウリング交流会

- ① 開催日 令和3年11月18日(木)
- ② 担当 活動グループ推進委員会
- ③ 開催場所 ココレーン松本
- ④ 参加者 21名

男女和気あいあいのプレーを楽しみながら真剣に競技を行ないました。プレー年1回の方も、常連のベテランもレーンとピンの動向に一喜一憂し交流が出来ました。当賛助会では、同好会が無くなりましたが、是非ご計画をお待ちしております。大勢の会員のご参加があり感謝いたします。

☆結果報告

順位	男子	地区名	女子	地区名
優勝	鷺沢 暢雄	豊科	中村 道子	松本
準優勝	太田 健	穂高	中山 洋子	豊科
三位	小林 直美	穂高	藤井真理子	松本



入賞者の皆様

◎中信地区賛助会懇談会

- ① 開催日 令和3年11月22日(月)
- ② 参加者 宮村泰之常務理事 木曾地区・大北地区・松本地区の3賛助会役員 28名
- ③ 幹事当番 大北地区(次年度は、当地区が担当します。)
- ④ 開催場所 松本合同庁舎会議室

本部の宮村常務理事から『賛助会員グループ活動活性化検討会』の説明と『長寿社会開発センター設立趣旨』の説明があり質疑応答。後半は、各賛助会の課題と提言の発表により地区間での意見交換が行われた。当賛助会の参考になる提案が多く有意義な会議となった。



☆行事中止報告

◎作品展<<シニア大学生とコラボ企画>>

- ① 開催日 令和4年1月31日(月)~2月10日(木)
- ② 開催場所 松本合庁1階ロビー
- ③ 担当 活動グループ推進委員会

シニア大学生との初めてのコラボ企画でしたが、コロナ禍により中止となりました。

松本地区 法人賛助会員

(法人会員番号順に掲載)

- 松本倉庫 株式会社
- 一般社団法人 長野県薬剤師会
- 松本信用金庫
- 株式会社 プラルト
- 平成交通 有限会社
- 株式会社 長野銀行
- 公益社団法人 長野県看護協会
- アズサイエンス 株式会社
- 長野トンボ 株式会社

法人会員は、明るく、夢広がる、豊かな「人生100年時代」の実現のために(公財)長野県長寿社会開発センターの事業や活動をバックアップされています。

◎令和4年度松本地区賛助会 総会のお知らせ

日時 令和4年4月21日(木) 午前10時開会

場所 松本合庁 203号室

- 議事 1, 令和3年度 事業報告・決算報告・会計監査報告
 2, 令和4年度 事業計画(案) 予算計画(案)について
 3, 令和4年度 役員承認について 役員改選:令和4年度、5年度
 4, 松本地区賛助会会則変更について

☆本年度の総会については、新型コロナウイルスの影響がある場合は**規模を縮小して実施します。**

☆議事の決議方法・その他

(ア) 会則第16条の通り出席者による議決とします

(イ) 会員の皆様には、次号会報(7月発行 63号)により今年度計画、前年度実績をお知らせします。

◎令和4年度事業予定について ☆事業予定の日程です。変更の可能性あります。

賛助会・テーマ事業 《三世代文化交流会》 ☆会員全員の事業です皆様のご参加を期待しています。

◇ 開催日:令和4年10月7日(金) **日程は決定**

◇ 場所:松本市音楽文化ホール 小ホール

◇ 主催:松本地区賛助会・長寿社会開発センター松本支部

2, 賛助会主体事業の予定

1)ウォーキング交流会

➢ 開催日:7月2日(土) 9:30~12:00 **実施予定**

➢ 場所:中山地区《歴史と地域寺社史跡巡り》(集合場所 中山公民館駐車場)

➢ 担当:山紫ウォーキング同好会

➢ 申込み:飯沼グループ長

2)マレットゴルフ交流会

➢ 開催日:8月31日(水) 9:00~12:00 **実施予定**

➢ 場所:豊科水辺マレットゴルフ場

➢ 担当:アルプスマレット

➢ 申込み:小野グループ長

➢ 会費:300円

3)料理教室 担当:ローレル 会場の準備が出来次第開催したい。 **検討中**

4)ボウリング交流会

➢ 開催日:11月24日(木) 10:00~12:00

➢ 場所:ココレーン松本

➢ 担当:賛助会活動推進委員会

➢ 申込み:飯沼推進委員長

➢ 会費:1,600円(靴借用代含む)

5)松本地区賛助会作品展

➢ 開催日:令和5年1月下旬 **実施予定**

➢ 場所:松本合同庁舎・一階ロビー展示場

➢ 担当:賛助会活動推進委員会

➢ 申込み:飯沼推進委員長

新企画計画中

賛助会 ポッチャ交流会

日時 11月30日(水)

14:00~16:00

詳細は次号「会報まつもと 63号」

常任理事会からお知らせ

会員の減少に対応する組織、執行体制、事業、役員について過去8回の会議をもって検討してきました。それに伴い賛助会会則を改訂いたします。令和4年度の総会に提案し可決されれば新体制で執行していきます。役員の負担軽減ができます。結果については7月発行の63号にてお知らせいたします。

編集後記

近年になく寒さ厳しい冬が過ぎ、ようよう春が巡ってまいりました。桜の便りもちらほらの季節ですが、新型コロナウイルスの「オミクロン株」のまん延はもう少し長期化しそうです。一日も早く安定した日常に戻りたいものです。

賛助会の活動も皆様のご協力により順調に進んでおりますが、一方会員数やグループ数の減少など大きな問題も抱えており、会報編集者全員原因・対策等いろいろ頭を悩ませており、会報編集会議でもあれこれ議論が尽きません。そうしたなか会報62号も皆様のご活躍をお届けすると共に、賛助会の活動について特別企画として皆様のご意見をお聞きしたアンケート結果を掲載しました。如何でしょうか。今後の活動についての参考にしたいと思います。(編集委員 H・Y)